※令和４年度以降入学生用

学校番号	102

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高校生の美術Ⅱ」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・具体的なものを見て描く絵画、抽象的な美しさを発見する立体、偶然性や技法の面白さを体験する版画について学習します。
・美術Ⅰで学んだことをもとに、より広い範囲で美的な体験をし、自分の表現を深めましょう。さまざまな美術作品を鑑賞することでより深く、美術作品のよさを感じ取れるようになりましょう。

2　学習の到達目標

美術Ⅰをもとに、より幅広い創造活動を通じて美的体験を豊かにし、美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばす。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・美術表現の果たす役割について関心を持ち、各分野の特色や表現の意義を主体的に考えようとしている。 ・美術の多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	・感性や想像力を働かせ、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。 ・材料や用具の特性を理解し、より効果的な表現方法を選択し、主題を追求して創造的に表現している。	・自分の作品をもっとよくするためにはどうすればいいか、自分の作品と語り、試行錯誤を通して自分のこだわりを発見することを学んでいる。 ・創造的な美術の表現をするために必要な技能を身につけ、意図に応じて、表現方法を工夫している。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	デッサン、スケッチ、水彩画（絵画）	【絵画】 ◆静物、校内風景などのモチーフを線によって表現する。 ◆鉛筆、ペン、コンテと描画材を変え、さまざまなテクニックでそれぞれのモチーフを表現する。 ◆水彩絵具で植物を再現でなく,どう「表現」するか、ものの見方、感じ方を考える。	a:さまざまなアーティストの作品の良さを知り、また鉛筆や水彩絵具の使い方を理解し、強弱などの変化をつけることができたか。 b: 線の表現について理解し、その美しさを表現することができているか。 c:透明水彩の特性を理解し、色を重ねて塗ることで物の再現や場の雰囲気の深みを表現することができているか。	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察
	ふしぎなかたち（彫刻 立体）	【彫刻】 ◆自然物、人工物をモチーフに単純化、抽象化することからオリジナルの「うつくしいかたち」を生み出せることを理解する ◆小刀、彫刻刀でおおまかな掘り出しから細部の彫り込みを実習を通じて理解する。 ◆三次元の表現について理解する。 ◆安全に道具を使用することを学ぶ。	a:石による彫刻作品に関心を持ち、素材としての石の良さを感じ取り、主体的に表現しているか。 b: 彫刻の道具や用具の特性を理解し、表現を創意工夫しているか。カービングの創作の進め方を理解し、計画的に創作できたか。 c:美しさは身近にあり、それを発見、組み合わせることで新しいかたちを生み出すことを理解できたか。	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察
二学期	ステンドグラスのコースター制作(デザイン)	【デザイン】 ◆ステンドグラス(ティファニー式)の手法でコースター(鍋敷き)を制作する。 ◆装飾性やリフレインに留意してデザインを考える。 ◆効果的なガラスの配色や形、デザインについて検討する。 ◆ガラスカット、研磨、銅テープ、ハンダ付けなどの工程を理解し、ケガがないように作業する。	a:繰り返しを生かした、装飾的なデザインについて理解できたか。また、ガラスの形や配色を作品に効果的に生かすことができたか。 b: ガラスやはんだなど材料や道具の特性を理解し、安全かつ効果的に制作することができたか。 c:どうすれば美しい作品になるか積極的に試行錯誤し、自分の表現にむすびつけることができたか。	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察

※令和４年度以降入学生用

	絵文字制作（デザイン）	【デザイン】 ◆テーマにそって、自分のオリジナルのイラストレーションを制作する。 ◆モダンテクニック(さまざまな偶然の効果を生かした技法)を体験する。 ◆アイデア、画面構成、彩色、仕上げを実制作を通じてマスターする。 ◆アイデア、伝えたいこと、を形にすること(自分を表現すること)を学ぶ。	a:伝達表現に関心を持ち、表現効果を工夫して構想を練り、見通しをもって表現できたか。 b:意図に応じてアクリルガッシュの技法や特性を生かし、計画や手順を吟味して表現できたか。 c:構図の吟味や色の塗り重ねなど、テーマを表現するため、試行錯誤することができたか。	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察
三学期	エッチングで顔を表現する（版画）	【版画】 ◆間接表現である版画の特性を理解し、自分のテーマを効果的に表現する。 ◆線の密度による表現を理解し、制作に生かす。 ◆彫りから腐蝕、刷りに至る、凹版画の手順を理解し、自分の作品を美しく仕上げる。 ◆完成作品を展示し、お互いの作品を鑑賞する	a:凸版、凹版、孔版、平版４つの版の違いを理解できたか。偶然現れるかすれなどの良さを知り、版画の特性を理解できたか。 b: 版制作、腐食、試し刷り、本刷りの工程を理解し、作品を充実させることができたか。 c:モデルを見ながら版制作を進めることでモデルの人柄や雰囲気を効果的に表現することができたか。	作品 制作プリント 観察	作品 制作プリント 観察	作品 観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度